

都城市立高崎中学校 2023年11月29日(水) 文責:教頭



高崎中学校だより

生徒が生き生きと活躍する「生徒が主役の高中」



九州地区PTA研究大会(佐賀) 10月29日・日曜日

10月29日に九州地区PTA研究大会全体会(佐賀)に参加しました。今年3月に完成したばかりの「佐賀アリーナ」は、陸上競技場、プールなどが隣接する総合スポーツ施設になっており、来年の九州北部高校総体の会場にもなるそうです。宮崎にもこんな施設があればと少しうらやましい気持ちになりつつ全体会に参加しました。一緒に参加した村橋会長、古川副会長、高坂副会長、お忙しい中、参加いただきありがとうございました。



2年職場体験学習(11月7日・火、8日・水)

11月7日(火)、8日(水)の2日間、2年生は、職場体験学習を実施しました。

高崎地区を中心に地域の事業所の皆様にご協力いただき、充実した体験学習になりました。

現在、2年生は総合的な学習の時間で、事業所にお礼状を作成したり、活動内容をまとめたりしています。

進路選択は難しいものですが、この体験学習を通して学んだことを進路選択に生かしてほしいと思います。

(職場体験学習の様子)



教頭の霧島日記

全盲の元教師・竹内昌彦さんの言葉から

「YouTube」を見るのは何も中学生だけではありません。私もサッカーや料理の動画をよく見ます。時には、時事問題や感動秘話など見るのですが、そこで出会ったのが全盲の元教師竹内昌彦さんの動画でした。

竹内さんは現在NPO法人「ヒカリカナタ基金」の代表を務め、途上国の目の不自由な子どもたちに支援活動を行ったり、全国で講演活動を行ったりしています。

以下は、講演内容を一部抜粋したものです。

私も自分の人生を振り返ってみて、三度ほど「死にたい」と思ったことがあった。それはこの悲しみや苦しみが一生続くと思ったとき、人生に絶望したときだった。

しかし、これは間違いだった。そのつらいことの後に、必ず「やっぱり生きていてよかったなあ」と思えるときがきた。それだから、いまもこのように生きている。

どんなにつらいことがあっても、その後に必ずいいことがやって来るということだ。「夜が来たら、必ず朝が来る」「ピンチの後にはチャンスが来る」ということだ。それを信じて、「つらいときも粘れ、しのげ。どうしても耐えられなかったら、そのつらいことから、さっさと逃げ出せ。死なずに生きていたら、必ずいいことが回ってくるぞ」と言いたい。

竹内さん自身も幼少期に目が見えないことでいじめにあったそうです。また、長男は幼くして亡くなったそうです。幾多の困難を乗り越えた竹内さんの言葉は、子どもだけでなく、大人の心にも響きます。私も「粘ろう」「頑張ろう」という気持ちになりました。

参照：「AERA dot.」「NPO法人ヒナタヒカリ基金HP」

吹奏楽部第47回定期演奏会が12月2日(土)13:30より行われます。会場は、高崎福祉保健センターです。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

お知らせ

ボランティアで参加した「フットパス」の様子が放送されます。放送予定は以下の通りです。
12月3日(日) 午後4時55分～午後5時25分
番組名:UMK特別番組
「つながる～共に生きる社会を目指して～2023」